

## 第47回全国七大学総合体育大会

岩崎 麻衣

東北大学主催で8月12日～17日にかけて青葉体育館において七大学総合体育大会が行われました。今年は東北大学主催ということでもいつもの大移動がない分、七大という感覚が基本的に薄れていた気がしました。しかし練習日というか初日に七大学がそろった日、みんな実感が強くなったと思います。

今年の夏も去年同様湿気によって体育館の床が滑るといふハプニングが何度もあり、練習に大きな影響がありました。みんな精一杯練習して試合に望めたと思います。

### 1日目 東北大vs九大

昨年九大には2:3で負けていて、今年は勝ちたいという思いが強かったため、初戦から大事な試合となりました。

#### 1D 岩崎・森 対 原・椛島

初戦の第1試合目しかも確実に勝たなければいけない試合ということで、ちゆみはやはり緊張していました。緊張して体が固くなっていてミスもしていましたが、点数的には差をつけられることなく1セット目終盤までいき、21:17で

とることができました。2セット目になるとちゆみの緊張も溶け、しだいに自分たちのペースで試合を運ぶことができました。2セット目は21:13でとり、2:0で勝ちました。

#### 2D 山口・江副 対 木村・野中

相手は強いことはわかっていたので、私はラリーをしてミスを誘うようにとアドバイスしました。試合が始まると、やはり相手のラリーは早く、相手のペースになっていましたが、ちゃんとラリーをして相手がミスをするという場面やラリーをしていたけど惜しかったという場面もあり、力は出せていたと思います。1セット目は10:21、2セット目も10:21の0:2で負けてしまいました。

#### 1S 鳴海 対 椛島

最初は椛島(1年)が3番手だと思っていて、なつなら勝てるかもと誰もが思っていました。しかし、試合が始まると相手は強くて、後になってこの人が1番手だということがわかりました。ほとんど相手にリードされていて苦しかったと思いますが、なつも得意なコースで決めたり、相手にミスを誘ったりと頑張ってくれました。1セット目は19:21、後もう少しのところを相手が確実に決めてきたという感じでした。2セット目は14:21の0:2で負けてしまいました。

## “ 2S 岩崎 对 木村

当初1番手と想っていた木村(2年)が2番手…。弱くなったのかと思いきややっぱり強く、コースのいいスマッシュやドロップで苦戦しました。しかし相手はミスもしてくれていたのので、勝てなくはないと思いラリーをしていました。1セット目の中盤から後半に入る頃までずっと2、3点差をつけられていて、なかなかつめられませんでした。こつすけ(だったと思つ)の『サーブをもつと奥まで』というジェスチャーがわかり、思いつきサーブを打っていたら相手のコースが厳しくなくなり、どんとんと点数が入ってきて逆転し、1セット目を2・1・18でとることができました。2セット目も11点まではほぼ互角でした。そこで私は攻めるしかないと思い、スマッシュを1セット目よりも多用し、無事2・1・14の2・0で勝つことができました。本当に勝ててよかったです。

## “ 3S 山口 对 野中

決めシン、そして紗穂…。去年と同じ状況だと一瞬よぎりました。そんなことはさておき、1セット目は紗穂のクリアーが背の低い野中には効いていたようで、ラリーは優勢なことが多く、2・1・14でとりました。紗穂にとって野中は相性のいい相手だったと思いました。そしてその勢いで2セット

目もいくと思いきや、相手が粘って攻めてきて中盤までずつとリードされていて流れは九大のほうにありました。何点も差があり、あきらめかけた瞬間、怒涛の追い上げがあり、終盤になって紗穂のクリアーやスマッシュで点数をとっていました。そしてデュースまでいき、どっちが2セット目をとつてもおかしくない状況で、トンペイの応援、九大の応援もさらに熱くなってきてみんなが願うような気持ちで応援していました。そして2・4・22の2・0で勝ちました！本当によかったです。去年は負けてしまったけど今年はリベンジできました。七大戦初日、大事な1勝を勝ち取ることができました。

MC

## “ 大沼・小野 对 根本・山下

亜未は決まるとすぐくつれしそうにして、楽しそうに試合をしていました。亜未と貴美子の息もぴったりで1セット目は2・1・19で競りましたが、2セット目は2・1・8で勝ちました。

## “ 小宮山・藤沼 对 宮脇・大和

陽と翔子のダブルスは二人とも元気いっぱい、気合が入っていていいダブルスでした。部内の試合でもそうですが、最後まであきらめないという気持ちが周りにも伝わってきて、

いいラリーをしていたので、勝ってほしいという思いがすごく強かったです。2人も強気で、最後まで攻め、21・15、21・17で勝ってくれました。

“ 鳴海・村田 対 安永・椋島 ”

1セット目は緊張していたのか、相手に圧倒されていたのかわかりませんが、元気がありませんでした。しかし、2セット目から元気が出てきて、自分たちのペースに持っていつていました。すごく競りましたが11・21、21・15、21・23で負けてしまいました。2人はまだ2年生と1年生で、これから組む機会もあると思うので、このようないい試合はよい経験となったのではないのでしょうか。

“ 山口・神田 対 池田・西川 ”

即席ダブルスで、うまくいくかわかりませんでしたが、紗穂がうまくカバーして沙織を引っ張っていました。沙織も七大の直前に戻ってきて頑張って練習していた成果もでていたと思いました。21・13、21・15で勝ちました。

“ 岩崎・森 対 野中・木村 ”

ただ攻めようと2人で話して臨みました。長いラリーで、なかなか決まらず、体力も相当消費しました。結局は19・21、21・14、18・21で負けてしまいましたが、いい試合

をさせてもらいました。

2日目 東北大 vs 北大

初日の九大戦に続き2日目は北大戦で、厳しい戦いが続きました。

“ 1D 山口・江副 対 丸谷・宮内 ”

北大の1ダブルスマツシュ、レシーブともに強く、攻撃があまりさせてもらえませんでした。2人の何が悪いというわけではなくただ相手が強かったという感じでした。その中でもあきらめず試合をしたことで、次の試合にもつながったと思います。結果、9・21、9・21の0・2で負けました。

“ 2D 岩崎・森 対 林・出倉 ”

相手が2ダブルといってもやっぱり強く、1本1本ラリーが長く、すごく体力のいる1戦でした。最初は力が入りすぎていたためかギクシャクしていて、自分たちのプレーが出来ずにはなりましたが、試合が進むにつれて感覚を取り戻しました。1セット目は17・21で取られてしまいましたが、2セット目は最初から攻めることを忘れずできたので、21・17でとりました。

ファイナルに入る前、11点までが重要だと話し、序盤から

かなり集中して臨みました。その成果がでたのか、流れがきて11点先に取り、途中ミスが続いたりもしましたが、最後まで攻め続けました。ファイナルは21・14の21で勝ちました。

#### 1S 鳴海 対 丸谷

ずっとすごくいいラリーをしていましたが、いいラリーをしていてもそこからなかなか1点を取ることができませんでした。恵美は4年で最後ということで気合入っているのがわかり、なつが圧倒されていたのかなと感じました。そうして流れをつかめず、8・21、3・21の0・2で負けました。

#### 2S 岩崎 対 宮内

1セット目はしおっち(宮内)のスマッシュやドロップ、クリアーどれも力強くて翻弄されていたので、自分の流れにはなかなか持っていき、11・21でとられてしまいました。2セット目はしおっち本人いわく、1セット目頑張った動いたら疲れてしまったらしいです。確かに、2セット目になるとしおっちのミスが増え、私のスマッシュが決まるようになりました。しおっちが疲れたおかげで21・10でとることができました。ファイナルになると最初から3、4点私がミスをしてしまい、リードされてしまいました。中盤は追いついて競

っていました。最終の大事なときになるとまた私がラリーの途中でミスをして2、3点取られ、18・21で負けてしまいました。ミスが続いてしまったのが悔やまれます。ほんとうに申し訳なかったです。

MC

#### 森 対 出倉

隣のMCの応援をされていて、あまり見ていませんでしたが、1セット目はねらいすぎでか、緊張してか、ミスをしていてイメージでした。2セット目はちゆみらしいプレーがでていて良かったと思います。結果は10・21、17・21で負けました。試合の序盤から自分のプレーにもっと近づけるように緊張せずできるともっと試合に強くなれると思うので、これから頑張つてほしいと思います。

#### 茂木・尾形 対 阿部・田才

最初は2人の動きがおかしく、体が固くなっていました。しかし、2セット目からは別人のように体も動き、強気なショットを打ち始め、いい試合してくれました。12・21、21・14、21・11で勝ち、北定のリベンジを果たしてくれました。

### 3日目 東北大vs名大

またまた3日目も続いて大事な試合でした。

#### 1D 岩崎・森 対 河村・堀

この試合は終始攻め合いで、攻めなかったら攻められて決まってしまうという試合だったと思います。4人とも攻めの手を休めず、常に攻めるか攻められるかだったのがすごく印象的でした。最初から私もちゆみも攻めることができ、自分たちらしいいい試合ができたと思います。結果は2・1・16、2・1・11の2・0で勝ちました。

#### 2D 山口・江副 対 大瀧・土井

1セット目はミスも多く、それにつけ込まれて相手に攻められ一方的な感じで、8・2・1でとられました。2セット目からはしだいに調子を取り戻し始め、攻撃もできて、2・1・19でとりました。ファイナルは相手が先に攻撃してくる形が増えて、決められてしまうパターンも多くなりました。しかしいいラリーをして2人ともあきらめずに攻め続けていました。オーダー的にこのダブルスはできればとっておきたい試合だったのですが、14・2・1の1・2で負けました。

#### 1S 岩崎 対 土井

相手は連続ということ、疲れているのが試合の序盤でわ

かりました。あとは自分があまりミスをしないうように心がけました。そして2・1・11、2・1・9の2・0で勝ちました。

#### 2S 鳴海 対 河村

1セット目からラリーもちゃんとしていたし、いいコースにも打っていたけれど、相手はうまかったので、きつくてもしっかり返ってきてそれになつの対応がうまくできていませんでした。13・2・1でとられました。2セット目はなつの対応もできてきて、粘ってラリーしていました。しかし、1歩及ばずという感じで19・2・1の0・2で負けてしまいました。なつは七大戰入ってからの3戦とも1番手と当たり、つらい試合が続きました。しかし、それでもしっかりとラリーをし、彼女の出せる力を出し切ってくれました。強い相手とでも粘ってラリーをできるといっのはなかなかできることではないので、これから期待です。いいラリーをしても1点取るのは難しいことなんだな、となつの試合を見て思ったので、これからどんどん強い相手と試合をして、1点でも多く取れるようになって強くなってほしいと思います。

#### 3S 山口 対 堀

堀がシングルでどんなプレーをするのか誰もわからないまま試合は始まりました。試合が進むにつれて堀はパワフルだ

ということがわかりました。クリアー、スマッシュ、レシーブどれもパワフルで、1セット目はそのパワフルさに紗穂が圧倒されていました。うちにはいないタイプで、戸惑ったと思います。1セット目は11・21でしたが、2セット目は紗穂の粘りもでてきて、相手もミスをしだし、いい試合だったのですが、やはりあのパワフルさには紗穂も対応し切れず、19・21の0・2で負けてしまいました。結果的に名大には2・3で負けましたが、みんなそれぞれいい試合をし、頑張ったと思います。

#### 4日目 東北大vs阪大

ここからはマッチ率とかそういうような関係で、2位になるために1試合も落とせなくなりました。確実に勝つぞっという気合が再び入りました。

#### 1D 岩崎・森 対 高塚・竹内

相手がほとんどミスしてくれなし、自分たちのミスもほとんどなかったなので、自分たちのペースで試合ができました。

21・3、21・4の2・0で勝ちました。

#### 2D 山口・江副 対 内田・井上

相手はけっこうレシーブで粘ってきて、それに対応し切れず、いなくてミスもあり、完全に自分たちのペースとはいきま

せんでしたがしつかり決めるところは決めてくれました。

21・14、21・15での2・0で勝ちました。

#### 1S 岩崎 対 大杉

まだ勝ってないなつにも余裕があれば出したいと思っていましたが、1番手が出てくると予想して私が出ました。結果的には私じゃなくても大丈夫な相手で、なつを出せばよかったなと思ったときには時すでに遅しでした。21・7、21・9の2・0で勝ちました。

無事3・0、1セットもとられることなく1勝しました。

#### MC

#### 小野 対 井上

1セット目すごく競っていて惜しくも20・22でとられてしまいました。2セット目は貴美子の調子が出てきたのか、クリアーなどいいコースに決まりました。その後相手にほとんど流れをつかまれることなく21・14、21・13で勝ちました。貴美子はいつも落ち着いて試合をしていて、相手のペースに乗せられることがあまりないという印象です。自分のペースで試合を運べるというのはすばらしいと思うので、そのままの試合運びでこれからも頑張っていきたいと思いま

## “ 小宮山 対 内田 ”

翔子は昔シングルが得意ではなく、ダブルスの方が得意だったイメージですが、4年最後の七大ではシングルもつまくなつて、この試合でも翔子のいいショットがたくさんありました。21・23、21・11、21・13の2・1で見事勝ちました。

## “ 鳴海・村田 対 高杉・高塚 ”

この試合は最初から2人のペースで試合が進んでいき、なつものりちゃんも楽しそうに試合をしていました。来年に向けていいイメージができたのではないかと思います。21・10、21・13の2・0で勝ちました。

## 5日目 東北大vs東京大

この試合も1試合も1セットもとられてはいけない1戦でした。

## “ 1D 山口・江副 対 平木・渡辺 ”

この試合は2人の流れで試合ができていて、安心してみていられました。危なげなく確実に勝ってくれました。21・7、21・6の2・0で勝ちました。

## “ 2D 岩崎・森 対 林・石井 ”

相手は甘いとこに打つとけつこつ厳しいコースに打つて

きたので、厳しいコースに打たれないようにしていました。

21・5、21・12で勝ちました。

## “ 1S 岩崎 対 平木 ”

あまりミスもなく、落ち着いて試合ができました。あとは私がクロスにほとんど相手を動かしていたら、相手チームの『クロス!』というジェスチャーに思わず失笑しました。

21・3、21・6で勝ちました。

東大戦もセットもとられることなく1勝ちました。

## MC

## “ 大沼 対 石井 ”

この試合はほぼ互角で、亜末はあきらめずに強気で戦っていたのを覚えています。2セットともデュースで2セットともとつたので、亜末の精神力の強さを感じました。28・26、24・22という激戦を制してくれました。

## 6日目 東北大vs京大

最終日、確実に勝ちにいつて2位になるうという思いでいっぱいでした。

## “ 1D 岩崎・森 対 山森・藤井 ”

最後なので楽しくかつ相手に流れをつかまれないようにし

ました。たぶん危なげなく21・5、21・12で勝ちました。

“2D 山口・江副 対 鷲江・田中”

相手が初心者の方だったので、ほとんどミスもなく、気持ちのいい試合をしてくれました。21・8、21・9で勝ちました。

“1S 岩崎 対 山森”

最後の3日間は1セットもとられずにきたのにまさか最後の試合で1セットとられてしまいました。ほんとにすみませんでした。私のミスでとられてしまい、申しわけなかったです。でもファイナルでは調子を取り戻し、私の本当のプレーができ、最後はしっかりと自分のバドで終わることができました。19・

21、21・17、21・8の21で勝ち、京大にも310で勝ちました。

MC

“藤沼・神田 対 木村・藤井”

またもや即席ダブルスでした。でも沙織と陽の相性は悪くなく、お互い助け合って試合をしていました。ラリーが続いたりしていて、途中陽がへろへろになり、心配しましたが、陽らしく気合で乗り切っていました。二人とも疲れつつも確

実にポイントを取っていき、21・14、21・9の210で勝ちました。

“茂木・尾形 対 鷲江・田中”

二人とも落ち着いて楽しそうに試合をしていました。この七大会最後の試合を見ると、練習のときよりも2人の息が合っていて、すばらしいゲームだと思いました。21・12、21・11の210で勝ちました。これからも課題を1つずつこなし、強くなりたいと思います。

最終結果はセット率で名大に勝ち、見事2位となりました。今までにない好成绩で、自分でもびっくりしましたが、部活のみんなで頑張ってきた結果だと思えます。本当に1年間ありがとうございました。現役のみなさんがこれからもいいチームを作ってくれることを期待しています。

また、玉川先生、渡邊先生、中井先生、たくさんの先輩方に応援来ていただき、アドバイスもたくさんもらって本当に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

これで七大会戦記女子を終わらせていただきます。このよ